

8-4-5 道路構造物専門委員会

1. 主な活動の記録

- (1) 道路構造物専門委員会の開催
専門委員会開催 9 回（定例）
各 WG 開催：随時
（保全業務 WG、品質確保（設計製作）WG、照査特別 WG、自主研究、RCCM 対応 WG、ソフトウェア WG、対外活動 WG）
- (2) 道路会社との意見交換会のための資料作成
対外活動委員会 WG の一環として対外活動 WG が中心になり、「実務レベルの課題を解決するための実務者懇談会」に対応するため、資料の作成とともに懇談会に参画した。
- (3) 「成果品に関するエラーの事例集」の作成と品質セミナー「エラー防止のために」の開催
技術委員会の関連専門委員会とともに平成 28 年度版『成果品に関するエラーの事例集』を作成し、『品質セミナー～エラー防止のために～』を全国 9 支部で 10, 11 月に開催した。当専門委員会では橋梁に関する事例収集・テキスト作成・セミナー講師を担当した。
- (4) 社会インフラメンテナンスに関わる検討
平成 29 年度「要望と提案」に資する資料として、国土交通省、地方自治体（都道府県・政令都市）ごとの点検および補修設計業務における実態との乖離、課題に関するアンケートを各支部に依頼し取りまとめた。
また、維持管理対策推進特別 WG に道路構造物専門委員の立場で参加した。
- (5) 品質確保に関わる検討
橋梁の耐震補強設計について、基準類が確立されていないため、設計の品質の確保が困難な事例が出てきている。品質改善のための活動を今年度より開始し、曖昧な設計基準例の収集と分析を平成 28 年度に実施した。
- (6) RCCM 更新教材の改訂
RCCM 更新教材については、維持管理関連技術を中心としてスライドの修正・追加、練習問題の追加を実施した。

- (7) ソフトウェアに関わる検討

「設計ソフト使用により入力ミスが生じやすい事例」について再度専門委員構成各社にアンケートを実施し、ソフト会社へ提示した。

道路橋示方書の改訂にともなう設計ソフトの早期対応のため、道示改訂情報を提示し、計算例の作成などで連携を開始した。

- (8) 建コンへの協力要請に伴う委員派遣

①道路橋示方書改訂作業への参画

道路橋示方書改定（Ⅱコンクリート橋編、Ⅲ鋼橋編）の委員会（道路協会）へ委員を派遣し、改訂作業に参画した。

②i-con 関連委員会に参画

i-con 関連の委員会に委員を派遣し、i-con 関連の 3 つのガイドライン作成に参画した。

- ・機械式鉄筋定着
- ・機械式鉄筋継手（現場打ちコンクリート用）
- ・流動性を高めた現場打ちコンクリート

③土木研究センターの審査証明委員会に参画

機械式鉄筋定着の審査証明に関する委員会に委員を派遣し、内規作成に参画した。

④国総研

橋梁の耐久性向上に関する共同研究に継続参画した。

2. 次年度の活動について

次年度も以下の活動を継続的に実施する。

- ① 橋梁等の道路構造物に関する設計体系や報酬、構造設計技術等に係る検討、本省技術調査課等との意見交換会への参加
- ② 関連専門委員会と連携した成果品の品質確保・向上のための活動
- ③ 国総研等との共同研究を継続
- ④ 外部協会と連携した技術力向上のための活動
- ⑤ 継続的な技術資料作成と会員への公開、セミナーの開催
- ⑥ 各種の対外活動（外部委員会への参加等）
- ⑦ 各種の意見照会やアンケート等への対応（道路構造物専門委員会委員長 小林 幸浩）